



こんにちは
じょう
城

日本共産党

堺市議会報告

勝行です

2007年11月/No.27号
南区美木多上322
Tel. 297-1777
日本共産党堺市議団
地域連絡事務所

12月定例会の日程

- 12月 3日(月) 本会議
- 4日(火) 議会運営委員会
- 6日(木) 本会議(大綱質疑)
- 7日(金) 本会議(大綱質疑)
- 10日(月) 本会議(大綱質疑)
- 12日(水) 市民環境委員会
産業振興委員会
- 13日(木) 建設委員会
文教委員会
- 14日(金) 総務財政委員会
健康福祉委員会
- 18日(火) 議会運営委員会
- 20日(木) 本会議
- 21日(金) 消防議会

尚、初日と最終の本会議は午後1時開会、それ以外は全て午前10時開会です。議会がどんな様子か是非傍聴にお越しください。



昨年、障害者自立支援法の改善を求めて二度にわたり八百人を超える関係者が市役所を取り囲みました。写真は昨年6月21日の集い

障害者自立支援法の応 益負担の撤回を!

前号で「障害者自立支援法実施から一年半、障害者は悲鳴!」と題して、応益負担制度で利用料の負担が重くサービスが受けられない現状を紹介しました。応益負担とは、利益を受けることに對する負担のことですが、障害者が必要な援助を受けることは、利益ではなく、憲法二十五

十二月定例会がはじまります

左記の日程で十二月定例会が開催されます。九月議会に提出された公立幼稚園廃止反対の陳情に議会がどう対応するか、政務調査費の領収書公開や後期高齢者医療制度導入と国民健康保険料改定問題など注目されるところです。私が担当する福祉・医療分野の陳情がいつもたくさん提出されます。今議会でも皆さんの声を市政に反映させるようがんばります。

条で規定している「人間らしく生きる権利の保障」です。障害が重いほど負担が重くなるこの制度は憲法違反ではないでしょうか。

健康福祉プラザの早期 建設と施策の充実を!

先日、重度重複障害者の家族の方々にお会いしました。一日も早い「健康福祉プラザ」の建設と重度障害者施策の充実をとの要請でした。以前「つばさ共同作業所」と言う無認可施設を視察しました。動作の全てに介助がいり、咽からの吸引が必要で

横浜市と東京都葛飾区を視察しました

去る十月二十九日・三十日の両日、健康福祉委員会の行政視察で、障害者の雇用や高齢者の介護予防施策などを見てきました。横浜市では、今年から障害者を市が非常勤嘱託として雇用していることや障害者の就労支援センターが市内六箇所にあり二十三年度までに九箇所にして、福祉・労働・教育による地域ネットワークづくり、連携による就労支援強化したいとのことでした。センターのコーディネートで新規就労者は計画以上に伸びているそうです。堺市も見習いたいですね。葛飾区では、ポニースクールを見学しました。子どもたちが、ポニーの世話や乗馬、子供同士、スタッフとの交流を通して、豊

胃チューブから栄養を注入してしました。作業所とは言い難い現実でした。重度障害の人たちを受け入れる施設が無く、共同作業所として市の僅かな補助を受けて頑張っておられたのです。その後、堺市は、こうした人たちの施設建設を計画に盛り込みましたが実行しませんでした。ひどい話です。ようやく「健康福祉プラザ」ということで二十一年度開設する予定でしたが、更に二年から三年遅れる状況の中での要請でした。この施設が出来てもまだ不十分で、今ある施設でも補助金を出して対応できるようにとの切実な訴えでした。



皆さんどう思います

大連立に合意—辞意表明—無条件留任

あまりにひどい自公
政治にノーの審判!

先の参議院選挙で、自民党が大敗し民主党が勝ちました。これは、あまりにひどい自公政治が国民の厳しい審判を受けたものです。かといって、全面的に民主党を信任したのかといえはそうではないと思います。民主党は、憲法改定や消費税増税問題、格差社会拡大の構造改革路線で基本的には自民党と同じ立場をとってきました。しかし、自公政治への国民の怒りの劇的な広がりの中で、「反自公」を掲げて「対決戦術」をとったことが国民の批判の受け皿になったと言えます。

新しい政治が始まる
うとしているきこ

私たちは、参議院選挙で与党が過半数割れした意味は大きいと評価し、「自公政治の横暴を許さず、国民世論が政治を動かす新しい政治プロセスのスタートとなった」と位置づけ奮闘を決意していました。そんな中で安倍首相の政権投げ出し、野党第一党党首の辞意表明と言う前代未聞の出来事でした。

「あうんの呼吸で
大連立……?」

小沢代表と福田首相の二度にわたる密談と小沢氏の党代表辞意表明から続投にいたる一連の出来事を皆さんはどのように見とおられたでしょうか。小沢代表が「大連立」で福田首相と合意したことは非常に重大です。大連立は小沢代表からもちかけたとの報道に本人は盛んに抗議したけれど、福田首相は否定も肯定もせず「あうんの呼吸だ」と言った、そこに真実があるのではないのでしょうか。

何で続投やねん!

和泉市大野町にある農産物直売店に行く途中、綺麗なコスモス畑を見つけ撮影しました。和名はアキザクラ(秋桜)、花言葉は「純真」「真心」などで秋の季語。原産地はメキシコで十八世紀末にスペインマドリッドの植物園に送られ、コスモスと名付けられたそうです。日本には明治二十年頃に渡来したと言われています。高さ二メートル近くにもなり、原産地が高原地帯なので四方から光が当たらないと傾いて倒れやすい。「淡紅のコスモスが秋の

日・・・」山口百恵さんの歌を思い浮かべます。明日嫁ぐ娘が母を想う歌です。「あれこれ」と思い出を辿ったら、いつの日も一人ではなかったと、今更ながら我侘な私に唇かんでいます。明日への荷造りに手を借りてしばらくは楽しんでいただけると突然涙こぼし元気でと何度も何度も繰り返す母、ありがどうの言葉をかみしめながら生きてみます私なりに、こんな小春日和の穏やかな日はもう少しあなたの子どもでいさせてください。「いい歌ですね。」



コスモス

その後、小沢代表からこの事について反省の弁が無いのに、民主党役員がこぞって頭を下げて続投を要請し、しかも無条件だったと言うことですから更に重大です。不信任を受けたものとして辞意を表明した代表に無条件留任させるといふことは、小沢氏に無条件で信任を与えたことになり、これまでも通り「衆議院選挙で頑張ると言っても誰も信用しないでしょう。」

「反自公」の姿勢が問われること

後期高齢者医療制度が来年四月一日から強行されようとしています。七十歳から七十四歳までの窓口二割負担と七十五歳以上の社会保険家族の人の保険料徴収は当面凍結することになり、**後期高齢者医療制度と国民健康保険** 望を重く受けたが制度そのものは何も変わっていません。この間、年金課税強化で高齢者に多大な負担を押し付けた上に、更に負担の押し付けと差別医療を持ち込むこんな制度は中止・撤回

り組みます